

J A阿蘇、復興のイチゴ出荷始まる

7月12日の豪雨災害で甚大な被害を被ったJ A阿蘇中部いちご部会から、待望のイチゴ出荷が始まりました。

災害時は育苗中であったため、多くの苗が流亡・損傷したほか、ハウスには多量の土砂が流入し、加温機等の機械が浸水するなど多大な被害を受けました。

今年度のイチゴ生産が危ぶまれる深刻な状況でしたが、J A等関係機関を始めとした多くのボランティアの協力によりハウス等の栽培施設の復旧は急ピッチで進み、また、県内のイチゴ産地からも救援をいただき、定植は大幅な遅れもなく9月中に完了。結果的には、ほとんどの生産者が作付けを行い、管内のイチゴ生産が維持できました。

定植後の生育も順調に経過し、10月中旬には初出荷を迎え、被災された生産者も11月中旬には出荷を始めることができました。多くの方々のご支援と阿蘇のイチゴの生産維持に向けた生産者の努力により、今年も非常においしいイチゴができています。お世話になった皆様のご厚意に応えるため、生産者及び関係者一同は、阿蘇地域のイチゴ、農業、さらには地域の復興と振興に向けて頑張っています。



着荷状況



イチゴ出荷の様子